

- 問1 明治政府が、領事裁判権をなくそうと一生懸命取り組んだ一番の理由は何ですか。
- 問2 明治維新とは、どのようなことを指す言葉ですか。
- 問3 治安維持法は、どのようなことと同時に、政府によってつくられましたか。
- 問4 戦後の改革の中で、民主化を進めるために実施された、農業に関する改革を何とといいますか。
- 問5 1873年に出された徴兵令によって、新しく兵役（兵隊になること）の義務を負うことになったのは、どのような人ですか。
- 問6 江戸時代に、ききんなどで苦しむ農民たちが、重い税を減らしてもらおうなどの要求を通すために、力を合わせて起こした抵抗運動を何とといいますか。
- 問7 江戸時代の農村で、百姓たちが5軒前後でグループを作り、年貢の納付や地域のルールを守るために互いに協力・監視し合った制度を何とといいますか。
- 問8 明治政府がおこなった、武士を「士族」、百姓や町人を「平民」とし、身分による差別をなくそうとした方針を何とといいますか。
- 問9 第二次世界大戦中に行われた「集団疎開」とは、どのような人たちが、どこへ避難することですか。
- 問10 最初の衆議院議員選挙で、選挙権を持っていた人は、当時の国民全体の約何パーセントにすぎませんでしたか。
- 問11 日本が国際連盟を脱退することになった、最大の理由は何ですか。
- 問12 日本がポツダム宣言を受け入れたことで、1945年8月15日にどのようなことが起こりましたか。
- 問13 1972年に、それまでアメリカの支配下にあった沖縄が、日本に戻ってきた出来事を何とといいますか。
- 問14 日米安全保障条約は、日本がどの条約と同時に結んだものですか。
- 問15 1894年にイギリスと交渉し、不平等条約の一部を改正して領事裁判権をなくすことに成功した外務大臣はだれですか。
- 問16 なぜ大日本帝国憲法では、天皇が陸海軍を直接指揮する（命令して動かす）「統帥権（とうすいけん）」を持つことになったのでしょうか。
- 問17 各地でつくられた憲法案の一つである「五日市憲法」は、だれがまとめたものですか。
- 問18 1930年代に日本が「満州国」という国を作った際、その独立を認めなかったために日本が脱退した国際組織は何ですか。
- 問19 1868年に明治天皇が神に誓うという形で示した、新しい明治の政治の基本方針を何とといいますか。
- 問20 第二次世界大戦の期間中に、日本が東南アジアへ軍隊を進めた主な目的は何ですか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	<b>答え</b> 日本が独立国として、国の中で起きたことを自分たちで解決できるようにするため	他の国の人に日本の法律が通用しない状態は、日本が一人前の独立した国として認められていないのと同じことでした。そのため、明治政府は日本の法制度を整え、外国とも対等な関係を築くために、この権利を撤廃することを目標として長年交渉を続けました。
問2	<b>答え</b> 明治の新政府による政治改革と、それにもなった社会の変化	明治維新は、明治の新政府が進めた政治の改革と、それによって人々の暮らしや社会の仕組みが大きく変わったことを指します。
問3	<b>答え</b> 普通選挙の選挙権が与えられること	治安維持法は、普通選挙の選挙権が与えられると同時に、政府が一部の運動を取りしめるためにつくられました。
問4	<b>答え</b> 農地改革	戦後の改革では、民主化を進めるための具体的な取り組みの一つとして、農地改革が実施されました。
問5	<b>答え</b> 20才になった男子	徴兵令では、身分に関わらず20才になった男子に兵役の義務が課されました。
問6	<b>答え</b> 百姓一揆	江戸時代に、農民たちが生活の苦しさに耐えかねて、自分たちの要求を藩や幕府に認めさせるために組織的に行った行動を百姓一揆と呼びます。単なる暴動ではなく、農民同士が団結して意志を示すための行動でした。
問7	<b>答え</b> 五人組	江戸時代、幕府は農村を管理するためにこの仕組みを取り入れました。もしグループの中の誰かが年貢を払わなかったり、罪を犯したりした場合は、グループ全体が連帯責任として処罰を受けました。これにより、村人たちは互いに監視し、協力して規則を守るように努めました。
問8	<b>答え</b> 四民平等	明治政府は、武士を士族、百姓や町人を平民とし、身分の平等をめざす「四民平等」を進めました。
問9	<b>答え</b> 都市の小学生たちが、親元をはなれて農村などへ避難すること	集団疎開は、空襲から逃れるために都市の小学生たちが親元をはなれて、農村などに集団で避難したことを指します。
問10	<b>答え</b> 約1%	選挙権が与えられたのは重い税金を納める一部の男子だけだったため、国民全体の約1%にすぎませんでした。
問11	<b>答え</b> 満州国の独立を国際連盟が認めなかったから	日本が満州国を設立した後、国際連盟は調査団を送り、その結果として満州国の独立を認めないという結論を出しました。この判断に対して日本政府は納得できず、国際社会から孤立を深めるきっかけとなる脱退の道を選びました。
問12	<b>答え</b> 戦争が終わった。	日本がポツダム宣言を受け入れたことにより、1945年8月15日に戦争が終わりました。
問13	<b>答え</b> 沖縄の復帰	1972年に、沖縄がアメリカから日本に復帰した出来事を「沖縄の復帰」といいます。
問14	<b>答え</b> サンフランシスコ平和条約	日米安全保障条約は、日本が独立を回復したサンフランシスコ平和条約と同時に結ばれました。
問15	<b>答え</b> 陸奥宗光	1894年にイギリスとの交渉により、不平等条約の一部である領事裁判権をなくすことに成功した外務大臣は陸奥宗光です。
問16	<b>答え</b> 軍隊を政治から切りはなして、天皇のもとで安定させるため	当時の政府は、議会や内閣などの政治の意見によって軍隊の動きが左右されると、国の守りが不安定になると考えました。そのため、政治を行う内閣とは別の立場で、天皇が直接軍隊を指揮する仕組み（統帥権の独立）にすることで、軍隊の強い力を保とうとしたのです。
問17	<b>答え</b> 地域の自由民権派の青年	五日市憲法は、政府が作ったものではなく、地域の自由民権派の青年たちが自主的に話し合っただけでまとめた憲法案です。
問18	<b>答え</b> 国際連盟	国際連盟は、第一次世界大戦の後に平和を守るために作られた組織です。しかし、日本が満州国を設立した際、国際連盟の調査団がそれを認めない報告書を出したため、日本はこれに強く反発して脱退しました。現在の国際連合とは別の組織であることに注意しましょう。
問19	<b>答え</b> 五箇条の御誓文	1868年に示された、明治政府の新しい政治の基本方針を「五箇条の御誓文」といいます。
問20	<b>答え</b> 石油などの資源を確保するため	戦争が長びくなか、日本は戦いを続けるために必要な石油や鉄などの大切な資源が不足していました。そのため、それらの資源が豊富な東南アジアへ軍隊を進めるといった判断をしました。